

各 位

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社
 代表者 代表取締役社長 野上一孝
 (コード番号 6769)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 高田康裕
 (TEL 03-5217-6660)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,086	111	152	149	12.32
今回修正予想(B)	4,011	126	430	405	33.48
増減額(B-A)	△74	14	277	256	
増減率(%)	△1.8	13.0	182.1	171.6	
(ご参考)前期実績 (平成24年12月期)	3,632	28	265	312	25.77

平成25年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,033	85	126	124	10.25
今回修正予想(B)	4,011	128	432	408	33.68
増減額(B-A)	△21	43	306	284	
増減率(%)	△0.5	50.3	242.2	228.7	
(ご参考)前期実績 (平成24年12月期)	3,632	2	230	280	23.12

当社は、平成25年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

当社は、当期を目標年次とする中期経営戦略「TACK2Win.」に基づき、アジアを核として事業ポートフォリオの充実を狙った事業展開をしています。通期における当社事業は、厳しい状況が続く事業が多い中で、第4四半期において事務機器・アミューズメント分野を中心として、利益率の高い製品について、予想を上回る出荷が生じる見込みとなりました。

他方、当期の研究開発費については、プロジェクト数を増加させながらも、戦略的コスト削減策が功を奏したことから、想定より大幅に費用を削減でき、優れた費用対効果を得られる見込みとなりました。具体的には、業界最高水準での高速情報伝送技術を確認したほか、新V-by-One(R)HS新製品、高度な画質調整機能を新規開発した16メガピクセル対応の画像処理LSI新製品、車載等に用いられるフルHD対応中小型液晶表示制御LSI新製品、電源制御技術を活かした新製品などの開発を行うことができました。

この結果、当期の連結売上高は40億11百万円(前期比10.5%増、計画比1.8%減)、連結営業利益は1億26百万円(前期比345.5%増、計画比13.0%増)となる見込みとなりました。

また、前期末比での円安傾向の進展、資金運用に関する受取配当金および投資有価証券売却益が発生した一方、一部の保有投資有価証券の評価損が発生する見込みに伴い、連結経常利益は4億30百万円(前期比62.3%増、計画比182.1%増)、連結当期純利益は4億5百万円(前期比29.9%増、計画比171.6%増)となる見込みとなりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年2月5日発表)	—	0.00	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	7.00	7.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成24年12月期)	—	0.00	—	6.00	6.00

当社は、平成25年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、前期実績につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

当期業績予想の修正に伴い、これまで未定としていた配当予想を1株当たり7円とする見込みとなりました。

以 上